

教科書を使った家庭学習のススメ 其の参

前号では「小学校5年算数の教科書を用いた家庭学習の取組方法例」を紹介しましたが、今号では「**児童生徒の意欲を引き出すポイント**」を紹介します。各校の実態に合わせた取組の推進をお願いいたします。また、別紙では、国語科の家庭学習のアイデア例を紹介いたします。必要に応じてご活用ください。

臨時休業期間中における家庭学習の学習評価について、**家庭学習の直接の成果物（ワークブックやプリント、ノートへの記述など）を求める方法で把握できる情報と児童生徒と直接やり取りする方法（登校日や家庭訪問等）により把握できる情報を適切に組み合わせた指導計画を立案し、学習評価方法を検討する。**
令和2年4月10日付け2文科初第87号通知を踏まえて作成

Point

Point① 成果物に対する**コメント**の記入や声かけで意欲を高める。

家庭学習の中身を評価せずに押印のみで返却していると、学習意欲は低下してしまいます。児童生徒の「努力」や「成長」などの**頑張り**に応じた**具体的なコメント**や声かけをし、学習意欲を高めましょう。

視点① 児童生徒の**努力**を認める

調べ学習では、たくさんの資料をまとめているね。最後の一文字まで、丁寧に書いているね。



視点② 児童生徒の**成長**を認める

ノートのまとめ方がだんだんうまくなってきていますね。文字もとても読みやすくなってきました。



視点③ 児童生徒の**工夫**を認める

自分から進んで、表にまとめてわかりやすくしているね。自分の言葉で、まとめることができていますね。



視点④ 児童生徒の**発想**を認める

先生も思いつかなかったアイデアが書いていたね！自主学習ノートでさらに深めていくと、おもしろいと思うよ。



Point② 成果物から理解度を把握し、**授業**で意欲を高める。

成果物を点検する際に、多くの児童生徒が理解できていた内容と理解することが難しかった内容を確認し、授業計画を見直しましょう。授業では、新たな課題に挑戦させたり、個別支援を行ったりするなどして、学習意欲を高めましょう。

STEP① 授業計画を見直す

【多くの児童生徒が理解できていた場合】

基本的な内容については、**計画した時数よりも少し短くしよう**。ただし、〇〇さんと、△△さんには、ていねいに支援しよう。



【多くの児童生徒が理解できていなかった場合】

考えを書く問題は、空欄が多いな。再開後の授業では、**考えるヒントを与えたり、時間をかけて進めたり**するようにしよう。



STEP② 授業で意欲を高める

【新たな課題に挑戦させる例】

教科書を踏まえて、この問題に挑戦してみましょう。



【個別支援を行う例】

教科書のこの部分を読んでみるといいですよ。



【全員で課題解決を行う例】

どのように考えたらよいか。みんなでアイデアを出してみましょう。



【個別支援を行う例】

難しい問題に、粘り強く挑戦できたね。

